

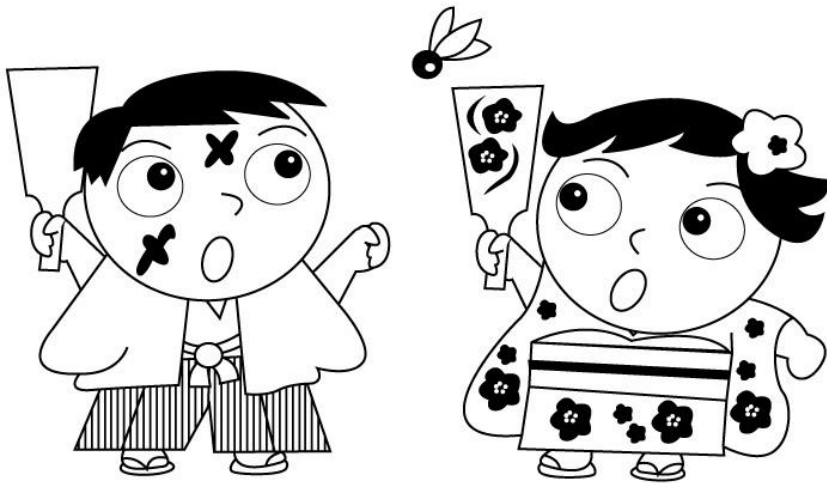
平成22年度
第58回

高津地区

羽根つき大会

日時 平成23年1月30日(日) 午前9時開会

会場 川崎市立高津小学校体育館



主催 高津区子ども会連合会高津地区

後援 高津地区連合町会・高津地区青少年指導員会

後援 東京新聞・東京中日スポーツ

式次第

開会式

選手入場（プラカードを持参して整列）

1. 開会のことば・・・・・・・・副会長
2. あいさつ・・・・・・・・会長
3. あいさつ・・・・・・・・来賓
4. 選手宣誓・・・・・・・・団体小学部の抽選1番の出場チーム代表
5. 競技上の注意・・・・・・・・体育副委員長
6. 安全上の注意・・・・・・・・安全教育委員長

選手退場（自分の子ども会の場所へ戻って下さい）

*連絡事項（個人戦の抽選をします各子ども会代表は本部席に集合して下さい）

閉会式

選手入場（プラカードを持参して整列）

1. 成績発表・・・・・・・・体育副委員長
2. 講評・・・・・・・・体育委員長
3. 表彰・・・・・・・・会長
4. あいさつ・・・・・・・・会長
5. 閉会のことば・・・・・・・・副会長

選手退場・解散（選手は育成会長に指示に従って下さい）

*連絡事項（各部の優勝者はこの後、橘地区代表と区子連代表決定戦を行います）

※ゴミは各子ども会で持ち帰りましょう

平成22年度 第58回 少女羽根つき大会開催要項

主 旨	児童生徒の健やかな身体を養い日本古来の伝承遊びを伝え、子ども会相互の親睦と交流を図り、子どもの健全な育成を図る。
後 援	高津地区連合町会・高津地区青少年指導員会・東京新聞・東京中日スポーツ
開催日時	平成23年1月30日(日) 午前9時開会
会 場	川崎市立高津小学校体育館
集合時間	役員集合午前7時00分 選手集合午前8時30分
対 象	高津地区子ども会の小学生男女・母
大会役員	地区役員、体育委員、
審 判	体育委員及び役員
試合規則	川崎市子ども会連盟開催要項並びに試合規則による。
参加規定	

①団体戦◎小学部(1~6学年別)・母の部・父の部とする。小学部でチーム構成が困難な団体は男子2名まで補充を認める。但し、全市大会は女子構成で出場する。

②個人戦◎小学1~2年部、3~4年部、5~6年部・母の部・父の部(小学部には男子の部を設ける。但し、区代表決定戦には女子が出場する。)

☆団体小学部の優勝チームは区代表として全市大会(2月6日)に出場する。

☆団体母の部及び女子個人の各部優勝者は高津・橘地区代表と区代表決定戦を行う。決勝戦は同日、子母口小学校で行う。

参加申込	申込書(団体戦・個人戦)は大会当日持参する
参加費	団体の部 1チーム <u>300円</u> (小・中・母の部各参加費が必要) 個人の部 1人 100円 *参加費は大会当日申込書に添えて提出する。
抽選会	抽選会は開会式後行う。
表彰	優勝・準優勝・三位を表彰する
選手宣誓	小学部の部団体抽選1番の選手とする(宣誓に“戦う”は使わないこと)。
試合方法	トーナメント制。但し、出場チームの少ない部はリーグ戦(総当り)とする。
異議申出	試合中審判に異議を申し出ることとは原則として禁ずるが、ルールの説明を求める場合は監督(チーム責任者)がこれを行う。
持ち物	体育館履き・羽子板・昼食を持参する。
プラカード	参加出場チームは次のプラカードを持参する。(会場が混雑するためプラカードの場所へ呼び出しをする)

90
30 ○○子ども会 120

注意事項 校内は「禁煙」「土足厳禁」です。昼食は決められた場所で行ってください。

団体戦

小学生の部 優勝	中学生の部 優勝	母の部 優勝	父の部 優勝
準優勝	準優勝	準優勝	準優勝
三位	三位	三位	三位

個人戦

1部 (1~2年生) 優勝	母の部 優勝
準優勝	準優勝
三位	三位
2部 (3~4年生) 優勝	男子1部 (1~2年生) 優勝
準優勝	準優勝
三位	三位
3部 (5~6年生) 優勝	男子2部 (3~4年生) 優勝
準優勝	準優勝
三位	三位
中学生の部 優勝	男子3部 (5~6年生) 優勝
準優勝	準優勝
三位	三位
父の部 優勝	
準優勝	三位

川崎市子ども会連盟羽根つき競技規則

1. 選手

団体の部

- ①小学生・中学生・お母さんの部に分ける。(各区子連小中共2チーム・お母さんの部1チーム)
- ②小学生は各学年正補1名、中学生は学年を問わず3名の選手に監督、コーチ各1名を加えて1チームとする。(選手のいない学年のある場合は低学年より代って出場することができるが同一選手は他の学年に出場できない)
- ③お母さんは子ども会指導者にして既に母親であることを原則とし、選手3名に補欠1名を加えて1チームとする。

個人の部

- ①小学生1部・2部・3部・中学生・お母さんの各部に分ける。
- ②小学生1年生～2年生を1部・3年生～4年生を2部・5年生～6年生を3部とし、各部1名の選手が出場できる。(中学生・お母さんの各部も同じ)
- ③尚、個人戦に出場の選手は団体戦に参加できない。

2. 用具

羽子板の大きさは自由、羽根は3羽使用。

3. コート

幅3メートル・長さ8メートル(中心にネット)で床に中心線は入らない。サービスラインはネットより1メートルのところ引く。

4. ネット

透明のビニール(幅3m×縦長45cm)などにて、羽根がはねかえるように考慮し、上端をはっきりわかるようにする。ネットの高さは、小学生1.6メートル、中学生・お母さんの部は1.8メートルとする。

5. ゲーム

- ①ゲームは3セット制で、2セットを先取した方が勝ち。
- ②得点は1セット7点、両者が6点の時は8点目を先取した方が勝ち。
- ③ジャンケンで勝った方がサーブまたはコートの選択権を有する。
- ④サーブは1セットごとに交代する。
- ⑤コートは1セットごとに交代する。
- ⑥選手の交代は1セットを終了した時点、若しくはプレー中選手が試合続行不能になった時。
- ⑦ネットに当たって返ってきた羽根はもう1回だけ打ち返せるが、すべて2回以内で返すこと、その場合選手の足がネットの下から相手コートに入ってもよいが、羽子板若しくは体の一部がネットにふれてはならない。
- ⑧審判の合図でプレーをはじめる。
- ⑨タイムは1セット中2回以内までとし、1回が30秒以内とする。

6. サーブ

- ①サーブする時は、サービスラインより後ろで打ち、サーブした羽根が相手側のサービスラインを越えなければならない。(但し小学生1, 2年生を除く) 打ち込みは禁止。サーブは2本とする。
- ②サーブの空ぶりはファール。打とうとしてコートの上に落ちた時、サービスラインを踏んでサーブした時は共にファール。
- ③サーブ形式はサブマリン(肩の位置から下の位置)とし、3本ずつ交互にサーブする。両者6点の時以後は1本ずつ交互に行う。
- ④レシーブもサブマリンを採用し打ち込みを禁ず。

6. 得点

次の場合、相手に得点される。

- ①羽子板をネットよりオーバーした時、羽子板がネットにふれた時、羽根が体にふれた時。
- ②羽根を羽子板以外で打った時、羽根を羽子板に乗せるようにして打った時、2回以内に返さなかった時。
- ③打ち返した羽根がコート外に出た時。
- ④サーブを2回失敗した時。
- ⑤ジャンプして打ち込んだ時。(サービスライン内で)
- ⑥打ち返そうとして空振りした時。
- ⑦羽根が天井に打ちあたって時。かすったのはセーフ。

7. 記録

勝点は1学年1点で、総合得点で勝ちを決める。小学生の部で両者3:3の時は代表同士の決戦で勝敗を決定する。(選手交代は認めない)

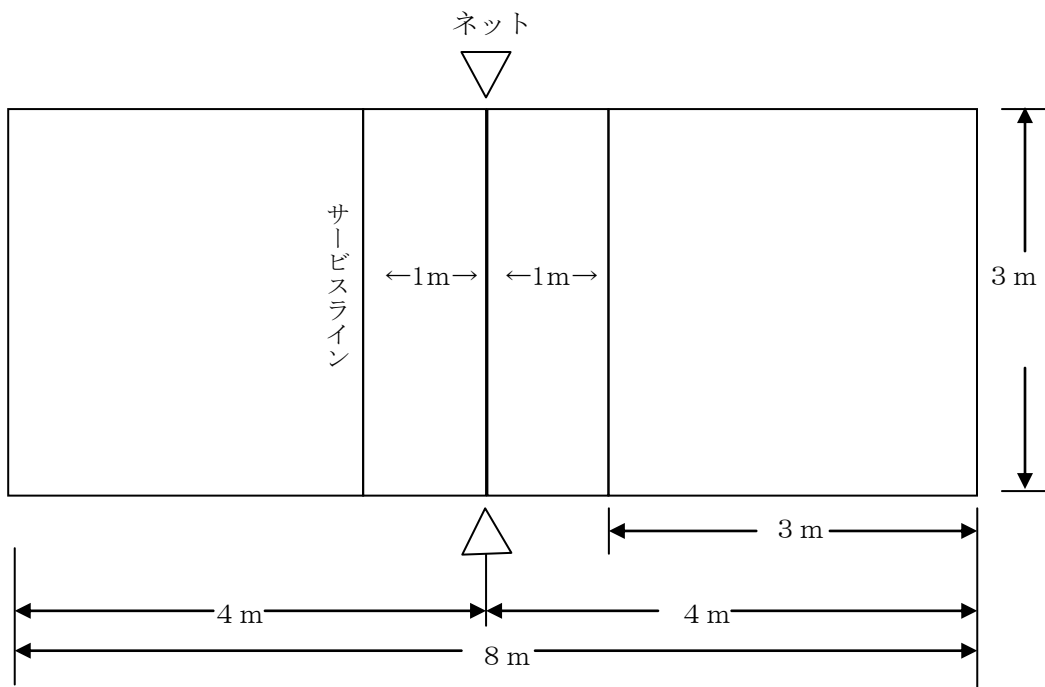
8. 付記

- (1) 会場に応じ、審判長の権限において原則にの一部を変えることができる。異議の申し立ては必ず監督よりする。
- (2) 個人戦の代理は認めない。

9. 補足

- ①サーブレシーブの時でも2回で返すことができる。但しサーブを受けるレシーブの時は、相手に返す2回目はサブマリンでなければならない。サーブをレシーブする時、手首のスナップにより羽子板を立てたまま受けてはいけない。
- ②レシーブの羽根がコートの外に出ても2回以内なら打ち返すことができる。
- ③羽子板で羽根を追った場合、手首が動いたらスイングとみなす。但し羽子板を後ろに下げた場合はこの限りではない。
- ④**団体戦も各選手は、個人戦とおなじルールで試合を行う。**
- ⑤羽子板の両面使用は認める。
- ⑥ゼッケンの大きさは250mm×200mmとし文字は黒とする。
- ⑦団体小学生の部で勝者同数(3対3)の時は代表者による決定戦を行う。但しこの場合は途中での選手交代は認めない。

コート図



※ネット高さ 小学生1.6 m 中学生・大人1.8 m